



# KASAOKA FLIGHT INFORMATION

笠岡・フライトインフォメーション



笠岡の空から世界の空へ。



## 施設の規模及び概要

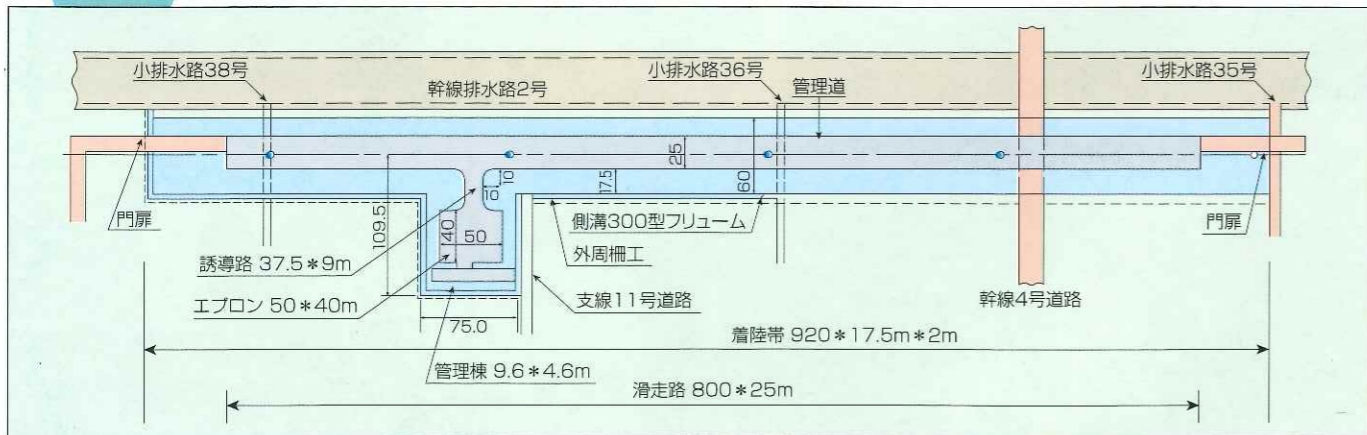
農道離着陸場は「航空法第79条但し書きの運輸大臣の許可を受けた場合はこの限りでない。」を適用し、場外での離着陸を行う場所として、施設設置基準のH級で、滑走路端より1/20勾配線より上、滑走路横方向に1/7以上、上空45mで水平半径1km以内等に障害物がないことなどで位置を決め、夜間の離発着を行わない非計器用施設としております。尚、航空機の離着陸を行う時に航空会社(利用者)がその都度運輸大臣の許可を得るものです。



## 施設概要

基本施設	滑走路	巾25m×長800m	着陸帯	巾17.5m×長920m
	エプロン	巾40m×長50m	誘導路	巾9.0m×長37.5m
	縦断勾配	1.025%~0.1%	横断勾配	1.5%~2.5%
	舗装その他	(アスファルト4cm、砕石10cm、クラッシャーラン10cm) 標識等一式		
附帯施設	管理棟	鉄骨プレハブ造り一部2階建64㎡		
	気象観測施設	風向、風力、気圧、吹流し等		
	安全施設	場周柵、門扉等、交通安全施設(標識)交通遮断施設、側溝、駐車場		
	その他	水道、電気、電話、無線施設、機械器具等		

## 空港平面図



岡山・笠岡地区農道離着陸場

# 大空が舞台。夢ひろがるフライトアドベンチャー!

笠岡湾干拓地に開設された笠岡農道空港は、その広大な面積と地の利を活かし、本来目的の農林水産物の空輸のみならず、あらゆるイベントやレジャー等に広く親しまれております。遊覧飛行や離発着訓練、中でも「模型航空世界選手権」の開催などは、滑走路を含む整備された環境が国際的にも高い評価を得ました。今後は積極的にこうしたイベントでの利用を図って参りたいと考えております。また全国各地からのお問い合わせやご利用をお待ちいたしております。

## 模型航空世界選手権

我が国でももちろん、アジアで初めての「模型航空世界選手権大会」が岡山県西部の拠点都市として飛躍的な発展を遂げようとしている笠岡市で開催されました。会場はもちろん「笠岡農道空港」。世界各国から一堂に集まったトップフライヤーたちが、その技を競い合う姿は、多くのファンに感動を与えました。この世界選手権が今後の模型を始めとする航空界へ大きく貢献できたものと信じています。



▲模型航空世界選手権 1995 F3A・F3C  
世界のフライヤーが集結!ブルーインパルスの編隊飛行など、話題のイベントは、この日訪れた観衆を魅了しました。

## 遊覧飛行



▲農道空港から大空へ飛び出します。

## 航空ビデオ撮影

NHKによる瀬戸内の3D映像の撮影基地として活躍します。この撮影ではヘリコプター6基により、アクション映画さながらの場面が多く撮影されました。



## 航空防除作業基地



▲松くい虫防除作業基地として森林を守ります。

## 交通安全教室



▲岡山県警航空隊による、交通安全体験教室。

## 人命救助作業



▲防災ヘリコプターによる救急人命救助活動。急病者や事故による重傷者など、一刻を争う場合に、空と陸との連携プレーで患者の命を救います。

## あらゆるスカイレジャーに



▲「ボクも未来のパイロットだ!」航空教室で。



人々が空へのチャレンジを続ける限り、飛行のための手段、道具に「これではいけない」という絶対的な決まりはないはず。ウルトラライトプレーン、ジャイロプレーン、グライダー……。スカイレジャーはロマンです。

## 離発着訓練



## 農林水産物運航事業



平成3年10月の開港以来、農林水産物の流通事業及び農作業の効率化事業を進めて来ました。農道空港の建設が起爆剤となって、地域の農業振興や活性化にも効果を上げています。

▲上空から見た笠岡農道空港。広大な笠岡湾干拓地の中央に位置するフライト農業の中枢基地。

## ゲンキカサオカ・1993 人文字大会

開港2周年を記念して開催された「フライトフェスティバル」では、多くの市民の方々が参加し、ビッグな人文字大会が行われました。その名も「ゲンキカサオカ」。この模様はテレビでも中継され、ビッグなイベント会場としての農道空港が映し出されました。



「おはようございます。今日もゲンキでがんばりましょう。」

なにやら問題点があるらしいぞ……



(スタッフの入念なミーティング)



それでは本番でーす!



「失敗、失敗… やっぱおかしそ。」

「ボクもがんばるぞ!」



「やったあ〜!ゲンキカサオカ完成だ〜!!」